

**【施策評価調査】**

施策名	1-2-4	道普請事業の推進		74	施策目的 町道の維持管理を迅速かつ効率的に行うため、地域住民との協働による道路整備・維持管理の技法を整えます。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当	都市整備担当		施策内容 町道の維持管理を迅速かつ効率的に行うため、地域住民との協働による道路整備・維持管理の技法を整えます。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	阿久津 径行		
環境変化					

**■指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:道普請事業実施箇所数(箇所)	平成16年度事業実施箇所数 7箇所	計画	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所
		実績	↓ 7箇所	↓ 3箇所	↓ 5箇所	↑ 17箇所	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	当初	10,834,000	5,700,000	5,599,000	5,700,000	
	決算	15,614,000	2,338,796	4,563,667	21,215,762	

**■事務事業事後評価 21年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①道普請事業費	当初 5,700,000	整備延長	A	計画では10箇所まで延長1500mを予定していたが、要望が多く17箇所まで3152mと大幅に目標値を上回った。			
	決算 21,215,762	3,152m / 1,500m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**■施策事後評価 21年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	自分たちで使う道路を自分たちで整備することにより、地域の連帯感や道路に対する愛着の醸成を図ることができ、まちづくりの有効な手段となっている。	当事業が積極的に展開されるようになったが、今後も持続的に展開されるようの方策を検討していく必要がある。
総合評価	継続的に施策展開されたと評価する。 農道整備と整合性を図った上で、住民が取り組みやすい仕組みなのか検証し、後期計画に向けて、他の施策や他の分野で行っている施策と繋がりのある広い視点を持った事業展開を検討するとともに、同じ政策で行う施策との統合も検討すること。	